

岡田 さおり さん

『後悔を生きる力に変えて』

幼い私を引き取り育ててくれた養父母。私が九歳の時に倒れた姑を三年半もの間、養母は一人で介護していた。今でいう要介護5の状態。疲労困憊の中、養父が急逝した。姑の介護に明け暮れ夫の異変に気付けなかったと自責の念に苛まれ病んでいった。心因性喘息となり夜中に度々呼吸困難の発作に見舞われ、救急外来に搬送し入退院の繰り返しとなった。

ある晩の点滴中に「私がいなくなればあなたは楽になるのに。ごめんね」と言う養母に「そうだよ。早く死んでよ。もう嫌だ」と言った。十代の私に重くのしかかる介護に疲れていたとは言え思ある養母に死んでよと言ったあの日の私を消してしまいたいとずっと思ってきた。その私がケアマネジャーとして日々利用者さんにご家族に育てていただいている。介護は時に孤独で先が見えない。しかし尊い行いである。全世代対応の、誰も取りこぼされることのない共生社会の実現に向けて微力ながら私の経験を生かしていきたい。

【応募者コメント】過去の私に「よくがんばりました」今の私に「大丈夫！！」そして未来の私に「これからもよろしく」どんなつらい経験も無駄にはならない。すべて自分の糧となります。